

令和6年度

銚子市の わかりやすい決算書



～ はじめに ～

本市では、難しいと思われがちな決算について、見やすさとわかりやすさを念頭において作成した「銚子市のわかりやすい決算書」を発行しています。この“わかりやすい決算書”を通じ、市の財政に対して、皆様のご理解が深まるきっかけになれば幸いです。

目 次

令和6年度一般会計の主な事業	1
決算の基礎知識	5
決算のあらまし	6
各会計の決算状況	7
一般会計の歳入歳出決算	8
財政構造の弾力性と健全化判断比率	11
借金残高	13
貯金残高	14
普通会計決算の近隣市との比較	15



決算額は1円単位で報告するものですが、本書では見やすさを優先するため“万円”単位で表示しています。

また、合計値を合わせるため端数の四捨五入の切り上げ、切り下げを調整している箇所があります。

令和6年度一般会計の主な事業



まずは、令和6年度の一般会計※
の主な事業を紹介するっちょ！

※ “一般会計” の意味は5ページを見てちょ

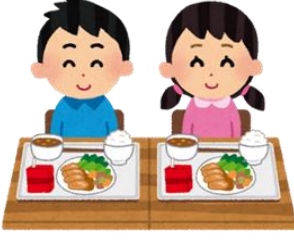
銚子市公認キャラクター ちょーぴー

- ① 子育て支援
- ② 保健・医療・福祉の充実
- ③ ゼロカーボンシティの推進
- ④ 生活環境の整備
- ⑤ 教育・文化の振興
- ⑥ 産業の振興

(事業名)				
	所 管		〇〇〇〇室	・・・ 担当部署
	事業費		〇〇〇万円	・・・ 事業にかかったお金（決算額）
	財 源	補助	〇〇〇万円	・・・ 国や県からの補助金、交付金、負担金など
		借金	〇〇〇万円	・・・ 事業費に充てるため、市が国や銀行などから借りたお金
		市	〇〇〇万円	・・・ 市税や使用料、基金などの市の自主財源
〇〇〇〇〇〇〇〇				・・・ 事業の説明

1 子育て支援

学校給食費無償化

	所 管		学校給食センター
	事業費		1億2,834万円
	財 源	補助	6,403万円
		借金	
		市	6,431万円

小学生4,600円、中学生5,500円の学校給食費を無償化し、子育て家庭の負担軽減を図りました。
財源に国・県の補助と子ども未来基金を活用しました。

保育所・幼稚園等給食費負担軽減

	所 管		子育て支援課
	事業費		5,071万円
	財 源	補助	2,899万円
		借金	
		市	2,172万円

保育所・認定こども園・幼稚園に通園するすべての子どもの給食費を市が月額6,500円負担し、子育て家庭の負担軽減を図りました。
財源に国の補助と子ども未来基金を活用しました。

2 保健・医療・福祉の充実

病院事業会計負担、補助及び出資 (指定管理者交付金)

	所 管		健康・地域医療推進室
	事業費		5億8,000万円
	財 源	補助	
		借金	
		市	5億8,000万円

銚子市立病院の安定的な運営を図り、医療の提供を確保するため、一般社団法人銚子市医療公社に対する医療従事者人件費補てん交付金の財源として、一般会計から病院事業会計に補助金を交付しました。

私的二次救急医療機関運営支援

	所 管		健康・地域医療推進室
	事業費		917万円
	財 源	補助	
		借金	
		市	917万円

地域の救急医療の安定的な提供体制を確保するため、救急搬送者を受け入れる市内の民間二次救急医療機関に対し、補助を行いました。

がん検診等予約システム導入

	所 管		保健事業室
	事業費		378万円
	財 源	補助	116万円
		借金	
		市	262万円

がん検診などの集団検診の予約がオンラインで24時間・どこからでも行えるWEB予約システムの運用を、令和6年8月から開始しました。

精神科診療所運営支援

	所 管		障害支援室
	事業費		1,726万円
	財 源	補助	
		借金	
		市	1,726万円

市内で唯一の精神科医療機関である銚子こころクリニックに対し、経営の安定化と精神医療の継続を図るため、運営費の一部に対し補助を行いました。

3 ゼロカーボンシティの推進

公用電動車導入

	所 管		管財室ほか
	事業費		2,909万円
	財 源	補助	
		借金	2,560万円
市		349万円	

銚子市ゼロカーボンビジョンに基づく取組として、10台の電動車を導入し、公用車における温室効果ガス排出量の抑制と燃料費の削減を図りました。

庁舎照明LED化

	所 管		管財室
	事業費		753万円
	財 源	補助	
		借金	610万円
		市	143万円
銚子市ゼロカーボンビジョンに基づく取組として、令和7年1月に庁舎のすべての照明をLED化し、省エネ化とランニングコストの削減を図りました。			

4 生活環境の整備

申請書自動作成システム導入

	所 管		市民室
	事業費		362万円
	財 源	補助	179万円
		借金	
		市	183万円

マイナンバーカード、運転免許証、在留カードなどから個人の基本4情報（氏名・住所・生年月日・性別）を読み取り、住民票などの交付申請書に自動で印字するシステムを導入し、申請書記入の負担軽減を図りました。

災害対応ドローン整備

	所 管		消防総務課
	事業費		419万円
	財 源	補助	
		借金	320万円
市		99万円	

消防防災力の強化を図るため、ドローン1機を購入し、火災や水難救助の現場などで活用しました。

道路改良・整備・修繕

	所 管		土木室
	事業費		2億8, 223万円
	財 源	補助	
		借金	2億3, 250万円
		市	4, 973万円

市民からの整備要望などに基づき、道路や側溝の改良工事、交通安全施設の設置工事などを行ったほか、令和6年度は、本通馬場町線マイロードの道路照明灯LED化を含む道路修繕工事を実施しました。

ごみ処理広域化施設整備

	所 管		生活環境課
	事業費		8,207万円
	財 源	補助	
		借金	7,190万円
		市	1,017万円

東総地区広域市町村圏事務組合が実施するごみ処理施設などの整備に対する費用負担で、令和6年度は、主に匝瑳市中継施設整備事業として旧松山清掃工場の解体撤去工事や発注仕様書等作成支援業務が進められました。

5 教育・文化の振興

高等学校DX加速化推進

	所 管		銚子市立 銚子高等学校
	事業費		912万円
	財 源	補助	912万円
		借金	
市			

国の高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金を活用して、3Dプリンタ、高性能PC、電子黒板、STEAM教材などを購入し、理数科のICTを活用した文理横断的・探究的な学びの強化を図るための環境づくりを進めました。

銚子ジオパーク支援

	所 管		文化財・ ジオパーク室
	事業費		604万円
	財 源	補助	
		借金	
	市	604万円	

千葉県で唯一のジオパークとして、市民と連携した地質遺産の保全活動やジオツアー、ジオパーク学習などの教育・普及活動に取り組みました。令和6年度は、4年に一度の再認定審査を受け、ジオパークとして再認定されました。

6 産業の振興

ふるさと納税関係

	所 管		観光プロ モーション室
	事業費		13億5, 560万円
	財 源	補助	
		借金	
市		13億5, 560万円	
寄附者の利便性を高め全国から広く寄附を募り、地場産品の返礼品を通じて地元事業者の支援を図りました。令和6年度は、当初の目標である7億円を大きく上回る約26億円の寄附をいただきました。			

灯台ワールドサミット

	所 管		観光プロ モーション室
	事業費		400万円
	財 源	補助	
		借金	
市		400万円	

犬吠埼での灯台ワールドサミット開催に併せ、犬吠埼灯台150周年セレモニーやシンポジウム、現地ツアーなどを実施しました。灯台を中心とした周辺の魅力を発信し、地域の活性化を図りました。

銚子漁港第3卸売場整備

	所 管		水産課
	事業費		1億 995万円
	財 源	補助	1億 995万円
		借金	
		市	

千葉県の補助制度を活用し、銚子市漁業協同組合が実施する第3卸売場の高度衛生管理型市場への建替えを支援しました。令和6年10月に完成し、11月から全面的に供用が開始されています。



決算の基礎知識



Q. そもそも「令和6年度決算」ってなあに？

A 令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間の収入（歳入）と支出（歳出）の実績をまとめたものです。また、市の台所事情がわかるので、ある意味“家計簿”や“通信簿”とも言えます。

Q. 一般会計・特別会計・公営企業会計の違いは？



A 一般会計とは、市のメインのお財布のことです。行政の基本的な活動に必要な経費を計上しています。

一方、特別会計とは、特定の事業を行うためにやりくりするお財布で、一般会計とは分けて管理しています。

公営企業会計は、地方公営企業法が適用される公営企業の事業を行うためのお財布で、銚子市には水道事業、病院事業、下水道事業の3つがあります。



Q. 決算カードってなあに？

A 決算カードは、普通会計にもとづいた決算の状況を、市町村ごとに1枚のカードにまとめたものです。

また、普通会計は、総務省が決めた全国統一の共通ルールを適用した会計区分なので、決算カードを使って市町村同士の財政状況を比較したり、分析することができるようになっています。



決算のあらまし



一般会計の歳入は、前年度に比べ28億6,510万円（10.5％）増の300億8,052万円となりました。増加の主な要因は、ふるさと納税による寄附金が大きく伸びたことで、寄附金が19億5,588万円（272.4％）の増、また、ふるさと納税に対する返礼品などに係る経費を、ふるさと納税を積み立てた基金から取り崩して賄ったこと及び収支決算を整えるために財政調整基金から5億円を取り崩したことなどにより、繰入金が18億6,852万円（216.5％）増したことによるものです。

一方で、新型コロナウイルス感染症関連の負担金、補助金などが皆減したことで国庫支出金が3億8,584万円（8.9％）の減、市債が旧給食センターと旧清掃センターの除却債、名洗港整備（負担金）債などが減少したことにより7億4,504万円（42.0％）の減となっています。

次に歳出ですが、前年度に比べ28億6,489万円（10.7％）増の296億3,378万円となりました。

目的別決算では、総務費がふるさと納税に関する経費とがんばれ銚子ふるさと応援基金への積立金などの増加で28億1,061万円（69.2％）の増となっています。

性質別決算では、ふるさと納税による寄附金が増加したことに伴い、基金への積立てが増え、積立金が19億9,194万円（167.7％）の増、併せてふるさと納税に対する返礼品などに係る経費も増加し、物件費が11億5,180万円（36.9％）の増、補助費等が東総地区広域市町村圏事務組合に対する広域ごみ処理施設管理運営費負担金や水道事業・病院事業・下水道事業の3公営企業会計に対する補助金の増加などにより6億7,887万円（26.9％）の増となっています。一方、普通建設事業費は12億4,951万円（47.6％）の減となっており、これは、旧清掃センター解体事業や名洗港港湾整備事業に係る千葉県への負担金、消防の西部分署整備事業、銚子漁港第3卸売場整備に係る銚子市漁業協同組合への補助金などが減少したことによるものです。

令和6年度一般会計の歳入歳出差引額は4億4,674万円の黒字で、これから翌年度への繰越財源5,293万円を差し引いた実質収支額は3億9,381万円となりました。家計でいうところの貯金にあたる財政調整基金の決算年度末残高は20億1,218万円となりました。

安定した財政運営を続けるためには、真に必要な事業を見極め、歳入に見合った歳出としていかなければなりません。これまで実施してきた取組を検証し、事業の休廃止、新たな事業への転換など事業の取捨選択を進めるとともに、未収金対策の徹底や新たな収入確保策を講じていきます。

特別会計と企業会計は、令和5年度に引き続きすべての会計で黒字となりました。引き続き健全な財政運営を図ってまいります。

各会計の決算状況

区分	一般会計
歳入総額 ①	300億8,052万円
歳出総額 ②	296億3,378万円
歳入歳出差引額 ①－②	4億4,674万円
翌年度への繰越財源 ※ ④	5,293万円
実質収支額 ※ ③－④	3億9,381万円



区分	国民健康保険事業 特別会計	介護保険事業 特別会計	後期高齢者医療事業 特別会計
歳入総額 ①	73億2,064万円	67億7,899万円	10億 140万円
歳出総額 ②	72億8,513万円	67億4,433万円	9億9,894万円
歳入歳出差引額 ①－②	3,551万円	3,466万円	246万円
翌年度への繰越財源 ④	—	—	—
実質収支額 ③－④	3,551万円	3,466万円	246万円

※ 「翌年度への繰越財源」とは、年度内に事業を終わらせることができず、翌年度（令和7年度）へ繰り越すこととなった事業に充てる財源のことで、事業と一緒にその財源も翌年度へ繰り越します。

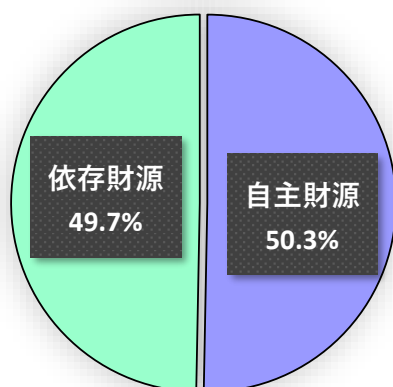
※ 「実質収支額」とは、その年度の歳入から、歳出と翌年度への繰越財源を差し引いたものです。この値がマイナスとなる状態を、一般的に『赤字』といいます。

一般会計の歳入歳出決算

歳入

項目	説明	決算額	
		令和6年度	令和5年度
自主財源	市が自主的に集めることができる収入です。	150億8,454万円	116億3,152万円
市税	皆さんが鉾子市に納めた税金です。	76億9,222万円	79億 133万円
分担金及び負担金	事業に必要な経費の一部を受けるサービスの程度に応じて、利用者が負担するお金です。	9,834万円	1億3,566万円
使用料及び手数料	施設を利用する時や住民票などを取得する時にかかるお金です。	4億3,993万円	4億5,643万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	27億3,174万円	8億6,322万円
その他	寄附金、土地や建物の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。	41億2,231万円	22億7,488万円
依存財源	国や県から交付される財源や市債（借金）のことです。	149億9,598万円	155億8,391万円
地方交付税	国に納められた税金の一部で、市が標準的な行政運営を行えるように配分されるお金です。	60億8,989万円	58億5,997万円
国・県支出金	国や県に納められた税金の一部で、特定の事業を行うために市に配分されるお金です。	55億1,107万円	59億1,862万円
市債	学校や道路などの施設を整備するために、国や銀行から借り入れるお金です。	10億3,003万円	17億7,506万円
その他	地方消費税交付金、地方譲与税、地方特例交付金などです。	23億6,499万円	20億3,026万円
計		300億8,052万円	272億1,543万円

令和6年度



自主財源が多いほど、自由に使えるお金が増えるので、自主的な事業ができるっちょ！！

経費を行政の目的ごとに
分類したっちょ！



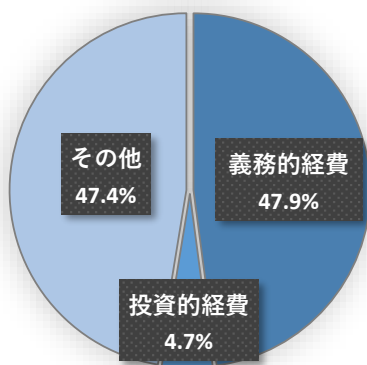
歳出決算状況（目的別）

項目	説明	決算額	
		令和 6 年度	令和 5 年度
議会費	議会運営のための経費です。	1億9,206万円	1億9,092万円
総務費	財産管理、統計、税の課税や徴収などの事務にかかる経費です。	68億7,459万円	40億6,398万円
民生費	障害者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などの経費です。	100億4,840万円	94億 31万円
衛生費	環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。	26億2,007万円	26億6,183万円
労働費	勤労者のための各種施設管理などにかかる経費です。	1,374万円	1,359万円
農林水産業費	農林水産業の振興、漁港整備などにかかる経費です。	10億6,202万円	11億7,570万円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	4億1,868万円	4億2,920万円
土木費	道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費です。	14億8,460万円	18億5,612万円
消防費	消防や火災予防などの災害対策のための経費です。	11億3,197万円	11億2,802万円
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費です。	26億5,613万円	27億1,633万円
災害復旧費	大雨、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費です。	1,243万円	1,329万円
公債費	市債の元金、利子や一時借入金の利子のことです。	31億1,909万円	31億1,960万円
計		296億3,378万円	267億6,889万円

歳出決算状況（性質別）

項目	説明	決算額	
		令和 6 年度	令和 5 年度
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	141億9,648万円	139億7,402万円
人件費	職員の給与や議員報酬などです。	54億9,905万円	54億 319万円
扶助費	生活保護、障害者支援、医療費助成など福祉に使ったお金です。	55億7,834万円	54億5,123万円
公債費	市債（市の借金）の元金・利子の返済などに要する経費です。	31億1,909万円	31億1,960万円
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模改修など施設の整備に要する経費です。	13億8,566万円	26億3,605万円
普通建設事業費（補助）	普通建設事業のうち国からの補助があるものです。	1億6,496万円	7億3,564万円
普通建設事業費（単独）	普通建設事業のうち国からの補助がないものです。	12億 793万円	18億8,676万円
災害復旧事業費	地震、風水害などにより被災した施設の復旧経費です。	1,277万円	1,365万円
その他の経費		140億5,164万円	101億5,882万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	42億7,634万円	31億2,454万円
維持補修費	施設の維持補修に要する経費です。	1億7,843万円	1億3,977万円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	31億9,832万円	25億1,944万円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金です。	31億8,006万円	11億8,813万円
投資及び出資金	病院事業会計などに対する出資金です。	1億4,700万円	4億2,317万円
貸付金	市が一時的に貸し出す経費です。	4億 195万円	2億1,620万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	26億6,954万円	25億4,757万円
計		296億3,378万円	267億6,889万円

令和 6 年度



必ず支出しなければならない
“義務的経費” が 半分近く を
占めているっちょ！！



財政構造の弾力性と健全化判断比率



財政構造の弾力性を表す経常収支比率は**93.8%**です。

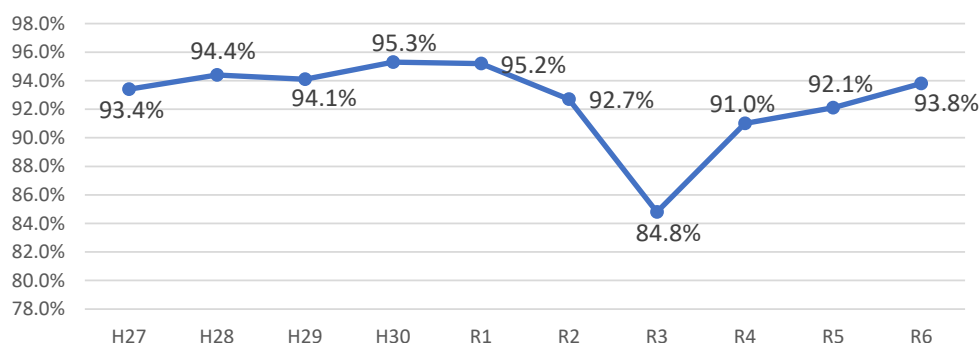


経常収支比率とは、人件費、扶助費、公債費などのように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源※が、一般財源総額のうち地方税、普通交付税のように毎年度経常的に収入される一般財源に対し、どの程度の割合となっているかをみることにより、財政構造の弾力性を判断するもので、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。

※ その使途が特定されていない財源（地方税、地方交付税など）のこと。使い道が決まってる財源（国庫支出金、地方債など）は特定財源という。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源等（地方税＋普通交付税等）＋減収補てん債特例分＋臨時財政対策債}} \times 100$$

経常収支比率の推移



令和6年度は、前年度の92.1%から93.8%に上昇（悪化）してしまいました。
増加の主な要因として、歳入では、普通交付税が約1.4億円、地方消費税交付金が約0.4億円増加するなど、分母の経常的収入が約1.6億円増加した一方で、歳出では、広域ごみ処理施設整備事業に関する一部事務組合への補助費等の増加や国保、介護などの特別会計への繰出金が増加したことなどにより、分子の経常的支出が約4.2億円増加し、分母の伸びよりも分子の伸びの方が上回ったことが挙げられます（経常的収入が増えたり、経常的支出が減ったりすると、経常収支比率は改善していきます。）。



Q. "健全化判断比率"ってなあに？

平成19年に交付された『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』により、自治体は毎年、財政の健全度を客観的に示すための健全化判断比率を発表しなければなりません。

詳細は次のページに記載されていますが、健全化判断比率には4つの指標が用いられており、一定の基準を超えたときには財政運営の健全化を図るための計画策定が必要となります。

健全化判断比率および資金不足比率



市の財政の健全度を判断
する4つの指標だっちょ！

実質赤字比率

一般会計などの赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、財政運営の深刻度を示します。

連結実質赤字比率

全会計の赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、自治体全体の財政運営の深刻度を示します。

実質公債費比率

一般会計などが負担する借金の返済額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、資金繰りの危険度を示します。

将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき負債の額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合かを表す指標で、将来の財政負担の大きさを示します。

健全化判断比率の状況	令和6年度決算	令和5年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	12.79%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	17.79%	30.00%
実質公債費比率	14.7%	13.4%	25.00%	35.00%
将来負担比率	59.5%	65.1%	350.00%	基準なし

※早期健全化基準と財政再生基準は、令和6年度の数値です。

銚子市の健全化判断比率
は、左のとおりだっちょ

健全化判断比率の近隣市比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
実質赤字比率	令和6年度	—	—	—	—
	令和5年度	—	—	—	—
連結実質赤字比率	令和6年度	—	—	—	—
	令和5年度	—	—	—	—
実質公債費比率	令和6年度	14.7%	9.8%	7.6%	10.5%
	令和5年度	13.4%	9.9%	7.3%	9.3%
将来負担比率	令和6年度	59.5%	—	11.4%	8.4%
	令和5年度	65.1%	—	5.7%	5.2%

※令和6年度の指標数値は、決算カードの速報値となります。

近隣市と比べて、銚子市は健全化判断比率が非常に高いことがわかります。これは、国の財政的支援が少ない地方債の割合が高く、また、市の貯金（＝基金）が少ないことが影響していると考えられます。

指標数値がさらに悪化すると…



健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも『早期健全化基準』を超えると、イエローカード状態（＝財政健全化団体）となります。

財政健全化団体になると、議会の議決が必要な財政計画を定め、公表しなければならず、**市主導で事業を行うことが難しく**なります。



健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも『財政再生基準』を超えると、レッドカード状態（＝財政再生団体）となります。

財政再生団体になると、議会の議決が必要な財政計画を定め、公表しなければならないのはもちろんのこと、**国（総務省）の関与のもとで財政運営を行うこととなり、市の主導で事業を行うことがほぼできなく**なります。

資金不足比率

各公営企業会計において、資金不足額がその事業規模に対してどの程度の割合となっているかを表す指標です。

資金不足比率の状況	令和6年度決算	令和5年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.00%
病院事業会計	—	—	20.00%
下水道事業特別会計	—	—	20.00%

※経営健全化基準は、令和6年度の数値です。



借金残高



一般会計借金残高（市債現在高）

項目	令和6年度末	令和5年度末	項目	令和6年度末	令和5年度末
普通債	125億5,352万円	135億2,722万円	その他	91億8,661万円	101億8,885万円
総務	7億7,864万円	11億7,757万円	減税補てん債	1,345万円	3,066万円
民生	1億5,390万円	9,744万円	臨時財政対策債	91億1,993万円	100億6,363万円
衛生	31億8,222万円	33億4,555万円	減収補てん債	2,110万円	3,031万円
農林水産	11億8,783万円	11億5,448万円	退職手当債	3,213万円	6,425万円
商工	2,393万円	3,105万円	計	217億4,683万円	237億2,277万円
土木	20億 401万円	19億8,527万円	市民1人当たり	402,823円	431,198円
住宅	8,475万円	1億 813万円	※市民1人当たりの金額は、令和7年1月1日現在の人口から算出しています。		
消防	18億9,320万円	19億4,575万円	令和6年度末の借金残高は、令和5年度末から約19.7億円減少しました。これは、千葉科学大学建設費助成に係る借金の返済が一部終了したことや、新たに作った借金の額（約10.3億円）が返済した額（約30億円）を大きく下回ったことなどによるものです。		
教育	32億4,504万円	36億8,198万円			
災害復旧債	670万円	670万円			
農林水産	670万円	670万円			

令和6年度末 普通会計借金残高（『令和6年度決算カード（速報値）』より）

近隣市との比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
借金年度末残高	令和6年度末	217億4,683万円	328億2,723万円	117億7,198万円	358億7,773万円
	市民1人当たり	402,823円	529,591円	353,577円	515,670円

※市民1人当たりの金額は、令和7年1月1日現在の各市の人口から算出しています。

学校や道路などの大きな施設の整備には一時的に何千万円、何億円といった多額のお金が必要になります。そのお金を1年間の予算でまかなってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。

また、学校や道路などの大きな施設は現在の市民だけでなく、将来30年から40年もの長い間、たくさんの方が利用する施設ですので、将来の市民の方にも平等に負担していただくことも、市債を活用する理由の一つです。

世代間の負担の公平を図るうえで市債発行の意義はもちろんありますが、前ページのとおり、近隣市と比較すると、健全化判断比率が非常に高い状況にあります。ただ市債を漫然と発行するのではなく、市債を発行する事業の選択と交付税措置のない市債の発行抑制に努めていきます。



貯金残高



貯金残高（基金現在高）

基金名	令和6年度末	令和5年度末
財政調整基金	20億1,218万円	23億3,171万円
減債基金	4億 737万円	3億4,714万円
災害対策基金	8,835万円	9,052万円
一般廃棄物処理施設整備基金	1,646万円	1,645万円
豊里住宅団地公共施設整備等基金	3億9,602万円	3億8,571万円
ふれあい福祉基金	2,870万円	2,719万円
地域再生基金	1億3,759万円	1億4,889万円
がんばれ銚子ふるさと応援基金	6億3,278万円	2億3,146万円
公共施設等総合管理基金	2億2,512万円	2億2,143万円
一般廃棄物最終処分場設置地域振興基金	142万円	118万円
銚子電気鉄道応援基金	2億1,718万円	1億1,451万円
漁業振興基金	4,570万円	1億2,138万円
森林環境基金	3,670万円	2,877万円
しごと・ひと・まち創生推進基金	1,300万円	100万円
再生可能エネルギー活用推進基金	250万円	150万円
子ども未来基金	3億9,451万円	1億3,843万円
国民健康保険事業財政調整基金	4,346万円	0万円
介護保険事業財政調整基金	6億9,439万円	6億2,907万円
計	53億9,344万円	48億3,634万円
市民1人当たりの財政調整基金現在高	37,272円	42,382円

令和6年度末 財政調整基金残高（『令和6年度決算カード（速報値）』より）

近隣市との比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
財政調整基金の 現在高	令和6年度末	20億1,218万円	79億7,676万円	20億8,699万円	65億4,417万円
	市民1人当たり	37,272円	128,686円	62,684円	94,059円

※市民1人当たりの金額は、令和7年1月1日現在の各市の人口から算出しています。

基金とは市の貯金にあたるもので、予算不足に充てるための「財政調整基金」と使い道が決まっている「特定目的基金」に分けられます。上記の表は、その残高を表しています。

銚子市の財政調整基金は、近隣の市と比較するといかに少ないかわかります。安定的な財政運営のために、財政調整基金現在高を適正な額※に維持していく必要があります。

※ 銚子市の財政規模であれば、少なくとも15億円、できれば30億円程度の現在高があると望ましい。



普通会計決算の近隣市との比較



市民1人当たりの歳入決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
自主財源	278,402円	203,314円	192,521円	228,761円
市税	142,485円	123,678円	113,842円	126,852円
分担金及び負担金	1,786円	1,927円	4,165円	1,541円
使用料及び手数料	8,454円	4,973円	4,081円	3,507円
繰入金	50,601円	23,171円	39,355円	52,422円
その他	75,076円	49,565円	31,078円	44,439円
依存財源	278,348円	381,837円	336,100円	351,222円
地方交付税	112,805円	156,762円	160,620円	147,184円
国・県支出金	102,656円	105,721円	110,331円	119,420円
市債	19,079円	75,315円	20,528円	38,751円
その他	43,808円	44,039円	44,621円	45,867円
計	556,750円	585,151円	528,621円	579,983円

市民1人当たりの目的別歳出決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
議会費	3,554円	3,512円	5,324円	3,191円
総務費	111,369円	70,590円	55,730円	89,940円
民生費	194,169円	187,891円	189,268円	185,993円
衛生費	53,491円	93,370円	72,058円	53,320円
労働費	254円	37円	0円	141円
農林水産業費	19,784円	14,227円	18,275円	21,169円
商工費	7,751円	6,520円	7,889円	11,475円
土木費	28,829円	45,032円	21,087円	30,366円
消防費	21,169円	39,368円	27,927円	33,120円
教育費	50,092円	42,158円	54,317円	39,375円
災害復旧費	237円	0円	0円	114円
公債費	57,776円	59,439円	49,766円	77,934円
計	548,475円	562,144円	501,641円	546,138円



市民1人当たりの性質別歳出決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
義務的経費	262,966円	272,118円	259,140円	261,215円
人件費	101,861円	99,967円	96,168円	71,622円
扶助費	103,329円	112,712円	113,206円	111,659円
公債費	57,776円	59,439円	49,766円	77,934円
投資的経費	25,667円	71,379円	37,470円	40,589円
普通建設事業費（補助）	3,056円	8,106円	7,463円	7,235円
普通建設事業費（単独）	17,499円	63,073円	27,005円	31,953円
県営事業負担金	4,875円	200円	3,002円	1,287円
災害復旧事業費	237円	0円	0円	114円
その他の経費	259,842円	218,647円	205,031円	244,334円
物件費	78,770円	58,935円	55,000円	62,388円
維持補修費	3,305円	2,269円	7,030円	4,704円
補助費等	59,244円	78,371円	85,574円	91,965円
積立金	58,905円	18,024円	3,231円	25,804円
投資・出資金、貸付金	10,169円	23,142円	8,380円	12,995円
繰出金	49,449円	37,906円	45,816円	46,478円
計	548,475円	562,144円	501,641円	546,138円

本市は、他市と比較すると、人件費が多く、補助費等が少ないことが大きな特徴となっています。これは、市立高校を有し教育関係の職員数が多いことや、消防業務などを直営で行っているため一部事務組合に対する負担金が少ないことが要因といえます。

また、普通建設事業費のうち県営事業負担金分も他市と比較すると多くなっていますが、これは、本市には特定第三種漁港である銚子漁港や洋上風力発電のメンテナンス拠点となる予定の名洗港があり、それぞれ漁港管理者、港湾管理者である千葉県が実施する整備事業が大規模に進められており、多額の負担を求められているためです。

もうひとつの特徴として、公債費は、他市と比較して特に多いとは言えませんが、前述のとおり、実質公債費比率は極端に高くなっています。これは、公債費の支出に対し、国からの支援（地方交付税）のない借金の償還が多いため、千葉科学大学建設費助成事業や市立銚子高校整備などが該当します。大規模事業の中には、償還が終了したものもありますが、令和7年度までは、比較的高い水準で推移する見込みです。



令和6年度決算
銚子市のわかりやすい決算書

- 発行年月日 令和7年9月
- 発行・編集 銚子市 財政課財政室
〒288-8601
銚子市若宮町1番地の1
電話 0479-24-8926
- 銚子市ホームページ

<https://www.city.choshi.chiba.jp/>

